



外国出張報告書

平成 27年 5月 18日

1. 出張国名 タイ、ベトナム
2. 出張月 平成26年12月 ～平成27年3月
3. 出張目的 放牧牛からのメタン発生量の測定、肉牛への TMR 給与によるメタン発生量抑制効果の検証：A
4. 成果の概要 タイにおいてキャッサバ由来デンプン抽出時の副産物であるキャッサバパルプをウシに給与した場合のメタン発生量に及ぼす影響を検討した。その結果、キャッサバパルプ給与割合が高くなるほど飼料消化性が向上し、可消化乾物摂取量あたりメタン発生量が低下し、生産物あたりメタン発生量が抑制されることが示唆された。ベトナムにおいてはビール粕を利用した発酵 TMR(完全混合飼料)を調製し、発酵 TMR 摂取時のウシからのメタンガス発生量の測定を開始した。2月25日にタイにおいて気候変動対応プロジェクト緩和策関連畜産関係者によるワークショップを開催した。ワークショップではこれまでの成果を確認し、残されたプロジェクト期間でなすべきことについて議論した。